
平成 26 年度 第三者評価結果 公表資料

特別養護老人ホーム

友愛苑

【受審No.26-007】

公表内容

施設基本情報シート

外部評価結果

施設の見解

家族アンケート回収率 70.1%

一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟

第三者評価制度評価委員会

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 友愛苑	定員	100名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 神戸老人ホーム	開設	平成17年3月1日
所在地	〒658-0064 神戸市東灘区鴨子ヶ原2-14-17	TEL	078-845-3660
交通アクセス	①神戸市バス31・38系統で渦森台2丁目バス停下車徒歩5分 ②神戸市バス19系統で鴨子ヶ原2丁目バス停下車徒歩2分	URL	http://www.krh-sumiyoshi.com

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業			
ケアハウスゆうあい 特別養護老人ホーム光明苑 養護老人ホーム住吉苑 デイサービスこだま デイサービスやまびこ 住吉訪問介護センター 住吉定期巡回・随時対応型訪問介護・看護センター 住吉夜間対応型訪問介護センター 友愛高齢者生活支援センター 住吉高齢者生活支援センター 住吉北部・御影北部あんしんすこやかセンター			
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)			
●介護・看護職員1名に対する入所者	1.72	名	
●介護・看護職員平均勤続年数	6.8	年	
●介護・看護職員平均年齢	41.9	歳	
●人材確保と育成の方針			
無資格者から有資格者までそれぞれの知識やスキルに応じて育成担当職員が個別に教育を行う体制をとっています。また、教育担当者には主任などの上位職によるフォロー体制をとっています。 職員からの異動希望も聞きつつ、総合的な職員育成の視点で人事を行っています。			
3 施設の方針・理念			
創設者の信念と意志を継承して、友愛精神を基本とし、地域の中核福祉施設として幅広く高度の社会福祉事業を行い、市民及び家族の生活の安定、特に高齢者の自立支援、精神の安寧のために貢献します。 ①利用者主体で介護します。 ②笑顔があふれる暮らしを創造します。 ③福祉の地域拠点として活動します。			
4 施設の特徴			
10人で1つのユニットを構成することにより、少人数の家庭的な雰囲気を作り、安全で安らげる空間の中、ゆったりと生活を送っていただく為のお手伝いをさせていただきます。 協力医療機関として、近隣の「甲南病院」と連携しており、緊急時等にはスタッフが対応させていただきます。 ロビーには、喫茶コーナーや売店を設けてあり、ご利用者のニーズを反映させる事で、豊かで喜びある生活をサポートさせていただきます。			
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ			
地域の方々やご家族の特技等を生かし、日々のレクリエーション等の場面で活躍いただいています。 毎年、介護系専門学校や職業訓練の学生、また教職課程の大学生が当施設において実習を行っています。			
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)			
毎年、地域住民の方にもご参加いただける夏祭りを開催しています。地域のボランティアの方にもご協力いただいています。 その他、介護予防支援事業として行われるている体操教室の会場を提供しています。また自治会等に会議室を貸し出ししています。地域防災福祉コミュニティの参加もしています。			
7 居室形態			
●種類	<input type="checkbox"/> 従来型	<input checked="" type="checkbox"/> 個室ユニット型	
●料金	居住費	3,000円	食費 1,980円
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)			
年に2回ユニット家族会を開催しています。また敬老の日に家族会総会を開催し、ユニット家族会の活動報告を行っています。 さらに医師の講演等を開催したり、利用者・家族と一緒に食事ができるようにお弁当を配給したりと家族会の要望に応じています。 地域共同の夏祭りにおいては、出店を家族会の方に担当してもらうなど協力体制があります。			

■サービス提供体制

入所条件	神戸市入所指針に基づき、①要介護度②認知症の程度③在宅サービス利用状況④老人保健施設や病院等の入所や入院、老人保健施設や病院等の入所や入院の期間⑤在宅介護の困難性(介護者の有無、介護者の入院等、介護者の高齢又は障害等、複数の要介護者の介護負担、介護者の就業や育児、その他の理由による介護困難。)⑥その他施設の専門性や地域性のほか、特別に配慮しなければならない個別の事情等を総合的に評価しています。
施設内自由度	利用者やご家族、地域の方々を対象とした、喫茶売店コーナーを設けています。
居室の環境	全室個室 ベッド・エアコン・洗面台・整理棚を完備
外出などの自由	ご家族の申請に基づき自由に外出等行って頂いています。また外出先までの送迎も行っており開放された施設運営を目指しています。
身体拘束・虐待防止対策	安全管理対策委員会で身体拘束・虐待防止対策について検討・協議を行っています。また内外の研修に参加し身体拘束・虐待防止の予防に努めています。
食事	管理栄養士の作成する献立表により、栄養ならびにご契約者の身体の状態および嗜好を考慮した食事を提供しています。 一か月に一度は、四季の彩りを意識したお弁当を提供しています。それ以外にもお節やクリスマス食などイベントに合わせた食事も提供しています。
入浴	最低一週間に2回の頻度で行っています。座立式特殊浴槽・ストレッチャー式特殊浴槽・一般浴槽を設置しています。基本的にマンツーマンによる入浴介助を行っています。希望者には同性介助が行えるよう努めています。
排泄ケア	排泄の自立を促すため、利用者個々の身体能力を最大限活用した援助を行っています。
医療体制	嘱託医3名の配置(内科医2名・精神内科1名) 協力機関病院:甲南病院 協力歯科:フジ歯科
ターミナルケアの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
認知症ケア	内外の研修を通し、認知症ケアについて学習し日々のケアに役立てています。また神戸市認知症介護実践研修及び実践リーダー研修に参加し認知症ケアの向上に努めています。さらに専門医とも連携し認知症ケアに取り組んでいます。
アクティビティ	第2.4火曜日 そなたの会(歌の会) 第3火曜日 踊りましょう(踊りの会) 第1火曜日 生け花倶楽部 第1水曜日 ウクレレ 第2月曜日 書道倶楽部 その他、おままごと倶楽部・公文学習・音楽療法・・・等 随時開催

特別養護老人ホーム 友愛苑

総合評価

- ◎ 日本人初の老人ホームという歴史から醸成された落ち着いた雰囲気施設全体に感じられ入居者の皆さんの表情も穏やかに感じた。また 10 名で 1 ユニットという単位で職員のユニット会議と家族会を構成して目を届き易くするとともに、パソコンで利用者の情報蓄積をして共有化を図っており問題の早い解決に役立っている。
- ◎ 2 年前の元職員による不祥事の影響は最近落ち着いたと聞きましたが、施設長が代わって間がなく施設長の運営方針や思いがまだ十分には浸透していないように感じた。ただ一部の職員からの聞き取りだったが、機会があるごとに施設方針の復唱して理解を深めている様子が窺え、また一人一人のレベルアップやスキルアップへの意欲を強く感じた。そうした意欲の活用のための場として、例えば外部研修の受講機会であったり受講した研修の報告会の実施、実施の結果に対する評価制度などのモチベーションアップの方策が少ないように思う。今後更に少子高齢化が進む中、他業種との人材の取り合いが考えられ人材確保や育成の面からも評価の方法の検討が必要だと考える。
- ◎ 地域との取り組みは、例えば防災福祉コミュニティーで防災訓練への参加や地域の代表の集まりの会への参加、夏祭りや地藏盆などの地域行事へ参加されているが、友愛苑という老人福祉施設の専門で持ち味である介護や福祉問題に関する情報や知識・技術などでの地域との交流機会も欲しい。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 利用者 10 名で 1 ユニットの単位で施設運営をしているため、職員 1 名に対する入所者 1.72 名という余裕のある人員構成です。この為、施設の人件費コストは高くなるが、利用者に対する目配りが行き届くためケアも充実しヒヤリハットといった問題も減少すると思う。
- ◎ またユニット単位で家族会を設けており、施設側と家族側との意見交換の機会も取ることが出来、特に地域の夏祭りでは家族会が出店を手伝うなど疎通が図れている。
- ◎ パソコンを活用して、利用者の個人情報を始め日常の出来事なども蓄積し、職員が見れるようにして情報の共有化を進めている。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ 2年前に元職員が起こした不祥事の影響がようやく収まり、施設長も交代して多くはこれからかと思う。特に介護業界の場合は、職員の仕事が症状の異なる十人十色の利用者の日常に追われることが多く、一般の会社のように物を何個作って幾等とか何個売って幾等と言う評価がし難い。この為施設全体としての計画や目標、ユニットとしての計画や目標、職員個人としての計画や目標なども前記の日常に流されることが考えられる。
- ◎ 一方施設長が最近交代されたこともあり、施設長の運営方針や思いの浸透がこれからかと思うが、職員が日常に流され過ぎないように調整しながら、それぞれの計画・目標が達成出来るようリーダーシップを発揮してほしい。特養施設への入所希望者は多く経営的には安泰と思われるが、他業種に比べて給与が安く人材が流動的で定着率が低いと言われる。その中で友愛苑の平均勤続年数 6.8 年は長いと言えるが、少子化の中でどれだけ他業種に勝って優秀な人材が確保できるかが課題となる。一部の方との面談だったが、今の職員にはスキルアップの意欲があると感じたので、利用者に対する職員の数の余裕のある間にその対策として外部研修を重用して少人数で受講し、戻っての研修報告会をする、を繰り返しながら職員のボトムアップを図ると共に、施設としての評価を採り入れて各自の報酬アップにつなげることで職員のモチベーションアップになるかと思う。
- ◎ 地域との交流ですが、福祉施設としての持ち味・専門性を地域の為に活用してほしい。介護や福祉問題に関する情報や知識・技術を公開して地域をリードしてほしい。これが、施設の方針「③福祉の地域拠点として活動します」に繋がると思う。主任クラスは頑張っておられるので、主任を活用しながら施設長のリーダーシップに期待する。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 友愛苑 記入者 施設長

当施設の見解

・地域への取り組みの点では、当施設としても今後専門性を活かした積極的なアプローチを検討しています。また、共用部分が多いという施設ハードの特性を今まで以上に地域の方にも開放し、活用していくよう検討しているところです。

・職員確保に関しましては、年々若年労働人口が減少する中、最優先に取り組む課題としてとらえています。当法人の介護職員の平均年収は、神戸市内の平均よりかなり高く、また、外部研修等にも出張扱いで参加させるなど職員への待遇は高いと思われます。職員アンケートの結果からも働きやすい職場であると自負しているところです。これまで以上に質を向上していくためにもご助言いただいたように職員のモチベーションアップの仕掛けづくりをさらに強化していくこととします。